

あなたの住んでいる場所が、 土砂災害警戒区域か確認してください

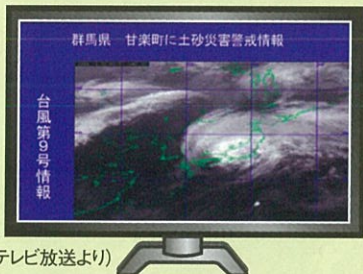
土砂災害のおそれのある区域は、「土砂災害警戒区域」として指定が進められています。自分の家や近所が土砂災害警戒区域にあるかどうか確認しましょう。土砂災害警戒区域は、市町村役場に問い合わせることで確認できます。国土交通省砂防部のホームページ（「国土交通省砂防部」で検索）でも確認することができます。

※現在、土砂災害警戒区域の指定が完了していない箇所もありますので、併せて土砂災害危険箇所かどうか確認して下さい。

土砂災害警戒情報に 注意しよう

大雨による土砂災害発生の危険度が高まった時には「土砂災害警戒情報」が発表されます。雨が降り出したら、雨雲の動きや土砂災害警戒情報に注意しましょう。

土砂災害警戒情報は、気象庁ホームページ、国土交通省砂防部のホームページ、各都道府県の砂防課などのホームページで確認できます。都道府県によっては、携帯電話等に自動的に土砂災害警戒情報を連絡するサービスもありますので活用してください。



TVによる告知例（NHKテレビ放送より）

危険を感じたら早めの避難 日頃の備えが大切です

大雨時には早めの避難

崖下や溪流沿いなどに住んでいる方は、大雨の際や土砂災害警戒情報が発表された時には、早めに近くの避難所などの安全な場所に避難しましょう。



土砂災害 から 身を守る ために

夜間に大雨が予想されるときは

暗くなる前に避難

夜間に大雨が予想される際には、暗くなる前に避難をすることがより安全です。特にお年寄りなど災害時要援護者がいる場合は、移動時間を考えて早めの行動を心掛けましょう。



避難勧告などの情報に注意する

大雨時には防災行政無線や広報車などによる市町村からの呼びかけ（避難勧告などの情報）に注意しましょう。



日頃の備え と 早めの避難



土砂災害の多くは木造一階で被災しています。豪雨などどうしても避難所への避難が困難なときは、改善の策として、近くの頑丈な建物の二階以上に緊急避難したり、それも難しい場合は家の中でより安全な場所（例えば、がけから離れた部屋や二階など）に避難しましょう。

こうした現象は土砂災害の前兆現象です

こんな現象を見たら…聞いたら…早めに避難しましょう。

キケンな場所には近づかないようにしましょう。

※ここに紹介した現象が、土砂災害発生の前兆現象の全てではなく、また、これらの現象が見られなくても土砂災害が発生する場合があります。

地すべり



土石流



がけ崩れ

